**第 3 学年 3 組道徳学習指導案**

1．主題名　美しくやさしい心　〔内容項目３―（３）〕

2．資料名　　「しあわせの王子」

3．主題について

（1）ねらいとする価値について

美しいもの、清らかなものへのあこがれは、謙虚で誠実な心から生まれる。騙慢で自己本位な心からは生まれない。美しいものは、自然の雄大さや荘厳さだけでなく、己をかえりみず人のために尽くした行為にもあり、気高さや清らかさを見ることができる。

（2）ねらいにかかわる児童の実態

本学級の児童は、自分自身で判断しようとし始める中学年であり、自立心の芽生えの時期でもある。集団の規則や遊びのきまりなども自分たちで決め、集団遊びにも熱中するのだが、自己中心性がまだ残っており、自己の利害に基づく衝突が時折みられる。その半面で、相手の気持ちを理解し、自分の在り方を反省することができるようになる時期でもある。今回の活動を通して、心の清らかさを読み、触れることによって自己犠牲の精神の構築のきっかけづくりとし、児童の持つ豊かな感受性をより確かなものとし、他者を慮る気持ちを育て、さらなる心的な面での成長を促すことが望ましい。

（3）資料について

外見的にきらびやかな王子の像が自己を犠牲にしながらも不幸な人たちに尽くす姿と、その心に打たれて王子に寄り添うツバメの姿が、感動的に描かれている。王子やツバメの美しい心に十分に感動させ、その内面的な美しさ、尊さを率直に感じ取らせたい。

4．指導計画 　　1 時間（本時）

5．本時の学習指導

（1）ねらい

美しくやさしい心に感動し、それを大切にしようとする心情を育てる。

（2）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習内容 | 主な発問と予想される児童の反応 | 教師の支援 | 時間 |
| １これまでの中で、  人のためになることをしたことがあるか、また、それはどんなことか聞く。  ２自分が行っている「人のために行っていること」を見せる(ジャグリング)。  ３「しあわせの王子」の範読をし、ツバメの気持ちについて考えを話し合う。  ３再び範読をはじめ、王子さまの思いとツバメの気持ちの変化について考える。  ４再び範読をはじめ、ツバメの気持ちについて考える。  ５結末だけが載ったプリントを配り、最後まで範読し、天使の立場でツバメにどう声をかけるかを考える。  ６説話として、ナイチンゲールの格言を取り上げ、まとめとする。 | ○みんなは人のために何か行動をしたことがありますか。  ・家族の手伝い  ・老人の荷物持ち  ・道に迷った人へ道案内  ○先生は、よくいろいろなところからジャグリングをしてほしいって頼まれてジャグリングをしています。これも「人のために何かをする」ことの一つかなって思います。  ○範読の範囲は、「赤いルビーをくわえて、親子のところへとどけました。」までとする。  ○王子さまの一回目のたのみごとを、ツバメはどんな気持ちで引き受けたのでしょうか。  ・あまり気が進まない。  ・いやいやながら。  ・一回くらいなら…  ○もしもみんながツバメだったら、王子さまのたのみごとを聞いてあげますか。  ・王子さまが困っているから、聞いてあげる。  ・自分にもいかないといけない場所があるから、聞けない。  ○範囲は「ツバメは、しかたなしに、のこりのサファイアをくわえて、とんでいきました。」までとする。  ○王子さまは、ツバメにどんな思いでたのみごとをしていたのでしょう。  ・自分の代わりに貧しい人を助けてほしい。  ・自分が動けないばかりにツバメをたのみごとに使ってしまってもうしわけない。  ○ツバメは、王子さまのたのみごとをどんな気もちでひきうけていたのでしょう。  ・王子さまのたのみごとならことわれない。  ・人助けになるのなら、王子さまのたのみごとをひきうけてやってもいい。  ○範囲は「子どもたちの顔色は、つやのよい、ばら色になってきました。」までとする。  ○子どもたちの顔色は、つやのよい、ばら色になってきたのを見て、ツバメはどう思ったのでしょうか。  ・王子さまのたのみごとを聞きつづけてよかった。  ・自分がしたことで、人びとがしあわせになってうれしい。  ○さいごの、天使になったつもりで考えて、ツバメにどんなことばをかけてあげたいですか。  ・がんばったね。  ・ひとのためにがんばるのはすごいね。  ・どうしてさいごまでで南の国に行こうとしなかったの。  ○ナイチンゲールを知っていますか。  ・本で読んだことがある。  ・初めて聞いた名前だ。  ○ただやりたいままに行動をするのではなくて、苦しんでいる人のために一緒に戦うことのできる人が本当の意味での天使であり、美しい生き方の一つなのだということを示した言葉なのだと先生は思います。 | ○率直な気持ちを聞きたいことを伝えておく。  ○騒がしくなることが予想されるのでできるだけ簡潔なパフォーマンスにする。  ○プリントの挿絵を見せ、関心を集める。  ○ツバメは、あまり気がのらないままに頼みごとを引き受けていることに注目させる。  ○読むための姿勢を作るため、一度姿勢を正すよう指示する。  ○頼み事は、どんな思いからされているのかについて目を向けさせる。  ○ツバメの思いが、一回目の時とは変わっていることに注目させる。  ○王子さまのたのみごとをしたことで、こまっている人々に良い影響を与えていることに注目させる。  ○ツバメの頑張りをたたえてあげるよう促す。  ○「天使とは、美しい花をまき散らすものではなく、苦悩するもののために戦うもののことだ。」という言葉を解説しつつ、今回のテーマと関連付ける。 | ３  ３  １０  １０  ７  ７  ５ |

６．備考　　　在籍生徒数　　３５名

７．板書計画

しあわせの王子

場面絵

３

場面絵

２

場面絵

１

人のために行動する

思いやりの心

天使になったつもりで、

ツバメにどう声をかける？

顔色がばら色になってきたのを見てツバメはどう思った？

ツバメの気もち

三回目のたのみごと

　王子さまの思い

さいしょのたのみごと

ツバメはどう思った？